

2023年4月28日

各 位

山形県山形市旅籠町三丁目2番3号
株式会社 きらやか銀行

株式会社 JERA に対するシンジケーション形式

トランジション・リンク・ローンへの参加について

～当行初となるクライメート・トランジション・ファイナンスの実行～

株式会社きらやか銀行（本店 山形市 頭取 川越 浩司）は、株式会社 SBI 新生銀行が組成した株式会社 JERA（以下、「借入人」）様に対するシンジケーション形式のトランジション・リンク・ローン（以下、「本ローン」）へ本日付で参加いたしました。

クライメート・トランジション・ファイナンスとは、脱炭素社会の実現に向けて長期的な戦略に則り、着実な GHG（温室効果ガス）削減の取り組みを行う企業に対して、その取り組みを支援することを目的とした新しいファイナンス手法です。本ローンは、2021年5月に国際資本市場協会（ICMA）が策定した「クライメート・トランジション・ファイナンス・ハンドブック」に示される4つの要素を満たすとともに、本ローンは資金用途不特定のため、ローン・マーケット・アソシエーション（LMA）らによって策定された「サステナビリティ・リンク・ローン原則」に適合する「トランジション・リンク・ローン」となります。

借入人は、日本の電力量の約3割を発電する国内最大の発電事業者です。世界的な脱炭素化の流れが加速する中、国内外の事業から排出されるCO₂をゼロとする「JERA ゼロエミッション2050」を掲げ、再生可能エネルギーの開発・導入や、ゼロエミッション火力に向けた水素・アンモニア混焼への投資を積極的に行っています。また、トランジション・ファイナンスによる資金調達のために、「JERA トランジション・ファイナンス・フレームワーク」を策定し、第三者評価機関となる DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社からトランジション・ファイナンスに係る各種基準への適合性について評価を受けています（※）。

当行は、借入人のトランジション戦略の中間目標の1つをサステナビリティ・パフォーマンス目標（SPT）として設定した本ローンを実行し、同社のトランジション戦略の実現を金融面から支援して参ります。また、当行グループにて2021年12月に公表した「サステナビリティ基本方針」に則り、今後も持続可能な地域社会の実現に向けて、社会的な課題の解決に積極的に取り組んで参ります。

《本ローン概要》

借入人	株式会社 JERA
アレンジャー	株式会社 SBI 新生銀行
資金使途	事業資金
借入人のトランジション戦略の概要	<p>【CO2 排出量削減に向けた長期目標】</p> <p>2030 年度：政府が示す 2030 年度の長期エネルギー需給見通しに基づく、国全体の火力発電からの排出原単位と比べて 20%減の実現。 2035 年度：国内事業からの CO₂ 排出量について 2013 年度比で 60%以上の削減を目指す。 2050 年：国内外の当社事業から排出される CO₂ をゼロとするゼロエミッションに挑戦する。</p> <p>【脱炭素に向けたロードマップ】</p> <p>借入人は、CO₂ 排出量の大半を占める国内事業向けにトランジション経路を示した「JERA ゼロエミッション 2050 日本版ロードマップ」を策定し、施策となるゼロエミッション火力（非効率石炭火力廃止、アンモニア・水素の混焼）、再生可能エネルギーに関するマイルストーンを示している。</p>
本ローンの KPI 及び SPT の概要	<p>CO₂ 排出量削減に係る 2030 年の中間目標を SPT に設定している。</p> <p>KPI（指標）：CO₂ 排出原単位（Scope1） SPT（目標）：政府が示す 2030 年度の長期エネルギー需給見通しに基づく、国全体の火力発電からの排出原単位と比べて 20%減（SPT 判定年度：2030 年度）</p>

(※) DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社による第三者評価レポートは下記 URL をご参照ください。

https://www.jera.co.jp/static/files/corporate/esgfinance/transitionlinkloan/jera_transitionlinkloan_report_202208.pdf

以上

じもとグループは
SDGsに賛同しています



【本件に関する問合せ先】
戦略エリア営業部
戦略融資企画課 担当：小淵
電話：023-631-0001（代表）